

# 林材業の業況動向調査結果の概要

平成26年度上期

平成26年7月

独立行政法人  
農林漁業信用基金

林業管理室

## 目次

I 調査のフレーム	1
II 項目別調査結果	2
1. 売上げの見通し	2
2. 資金繰り等の見通し	4
3. 設備投資の意向	12
4. 在庫量の見通し	14
5. 純利益の見通し	15
6. 木材価格の見通し	17
7. 当面する経営上の問題点	18
8. 今後の経営見通し及び事業方針	19

## I 調査のフレーム

### 1. 調査目的

この調査は、林材業の短期的動向を把握し、独立行政法人農林漁業信用基金の林業信用保証制度の適切な運営に資することを目的として、昭和51年10月以降、概ね6月(上期)及び11月(下期)時点での見通し等を年2回、継続的に調査実施している。

### 2. 調査対象

主に製材業を営み、保証の利用実績がある企業を地域別(全国を9ブロックに区分)に選び、継続的に調査対象としている(調査対象企業数472社)。

今回調査の有効回答の回収率は、42.2%(前回40.7%)であった。

なお、有効回答をした企業199社のうち、国産材を主に扱う企業は166社、外材を主に扱う企業は33社となっている。

### 3. 調査方法

アンケート調査票を調査対象企業へ直接郵送し、回答を返送してもらう方法で行った。

### 4. 調査時点及び調査対象期間

平成26年6月時点での上期(平成26年4月～平成26年9月)の現況・見通し及び平成25年度下期(平成25年10月～平成26年3月)の実績を調査したもので、平成26年6月30日までに回答のあったものを集計した。

### 5. 本文中の略称

DI……………動向指数(Diffusion Index) プラス要因指数からマイナス要因指数を差し引いて算出した。

「国産材企業」……国産材を主に扱う企業

「外材企業」……外材を主に扱う企業

前回調査……………平成25年11月に実施した本調査

### 6. 地域区分

「地域別見通し」における地域区分の都道府県別内訳は次のとおり。

北海道 …… 北海道

東 北 …… 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関 東 …… 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、  
神奈川県、山梨県、長野県

北 陸 …… 新潟県、富山県、石川県、福井県

東 海 …… 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近 畿 …… 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中 国 …… 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四 国 …… 徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九 州 …… 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、  
鹿児島県、沖縄県

## Ⅱ 項目別調査結果

### 1. 売上げの見通し

売上げの見通しは「図表1」のとおりである。

見通しDIは、前回調査より37ポイント下回りマイナス22ポイントであり、23年度上期以来の減少となった。

「国産材企業」・「外材企業」別では、「国産材企業」は前回調査より38ポイント下回り、マイナス20ポイント、「外材企業」は31ポイント下回り、マイナス34ポイントであった。

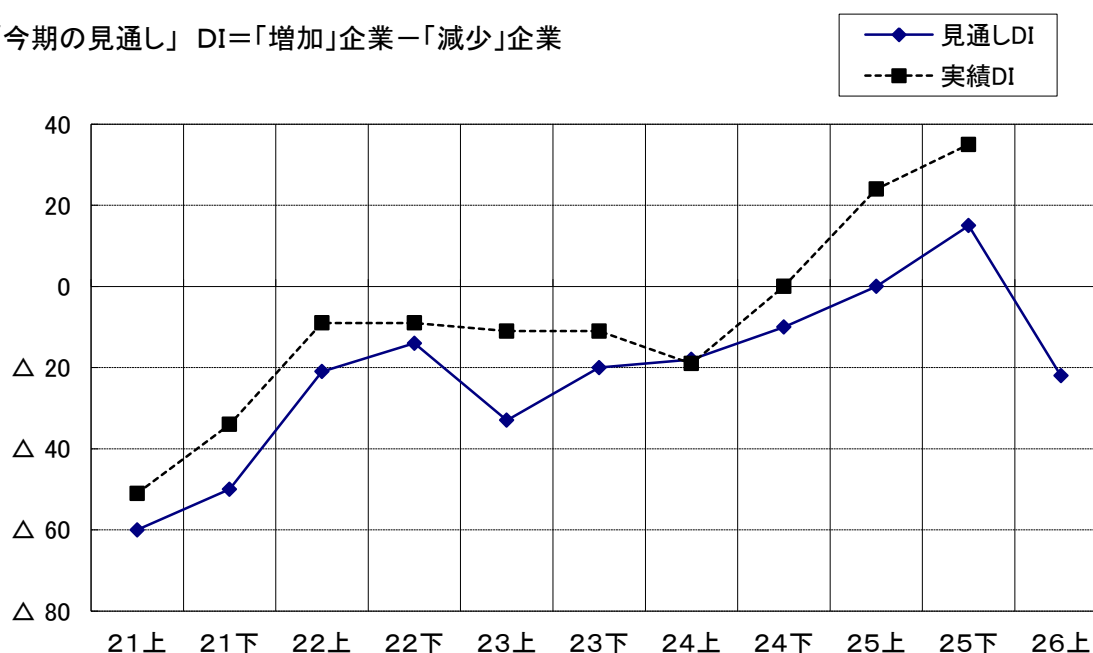
25年度下期の売上げに関する実績DIは、見通しDIを20ポイント上回る35ポイントであった。

図表1 売上げの見通し

(単位: %、ポイント)

年度期別		項目	合計	増加	不変	減少	DI
26年度上期の見通し			100	24	30	46	△ 22
内 訳	国産材企業		100	25	30	45	△ 20
	外材企業		100	18	30	52	△ 34
25年度下期の見通し			100	40	35	25	15
内 訳	国産材企業		100	41	36	23	18
	外材企業		100	31	35	34	△ 3
25年度下期の実績			100	53	29	18	35
内 訳	国産材企業		100	55	29	16	39
	外材企業		100	48	28	24	24

「今期の見通し」 DI=「増加」企業-「減少」企業



地域別売上げの見通しDIは、「図表2」のとおりである。

前回調査に比べ、「北海道」と「関東」を除いた地域で見通しDIが26～78ポイントの幅で下回り、「北海道」以外の地域において、見通しDIがマイナスとなった。「北海道」は、前回より22ポイント上回り、見通しDIは22であった。また前回唯一見通しDIがマイナスであった「関東」は、前回より16ポイント上回り、見通しDIはマイナス7ではあったが、改善が見られた。

総体としては、見通しDIが37ポイント減少した。

図表2 地域別売上げの見通し

(単位: %、ポイント)

項目 地域別	26年度上期					25年度下期				
	合計	増加	不変	減少	DI	合計	増加	不変	減少	DI
北海道	100	48	26	26	22	100	40	20	40	0
東北	100	17	36	47	△ 30	100	33	36	31	2
関東	100	31	31	38	△ 7	100	8	61	31	△ 23
北陸	100	11	45	44	△ 33	100	33	45	22	11
東海	100	26	37	37	△ 11	100	39	44	17	22
近畿	100	36	19	45	△ 9	100	39	39	22	17
中国	100	19	18	63	△ 44	100	50	25	25	25
四国	100	10	28	62	△ 52	100	29	57	14	15
九州	100	17	29	54	△ 37	100	61	19	20	41
合計	100	24	30	46	△ 22	100	40	35	25	15

## 2. 資金繰り等の見通し

### (1) 資金繰り難易度の見通し

資金繰り難易度の見通しは「図表3」のとおりである。

見通しDIは、前回調査より8ポイント下回り、マイナス12ポイントであり、22年度下期以来の減少となった。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しでは、「国産材企業」は前回調査より6ポイント下回りマイナス9ポイント、「外材企業」は7ポイント下回りマイナス18ポイントであった。

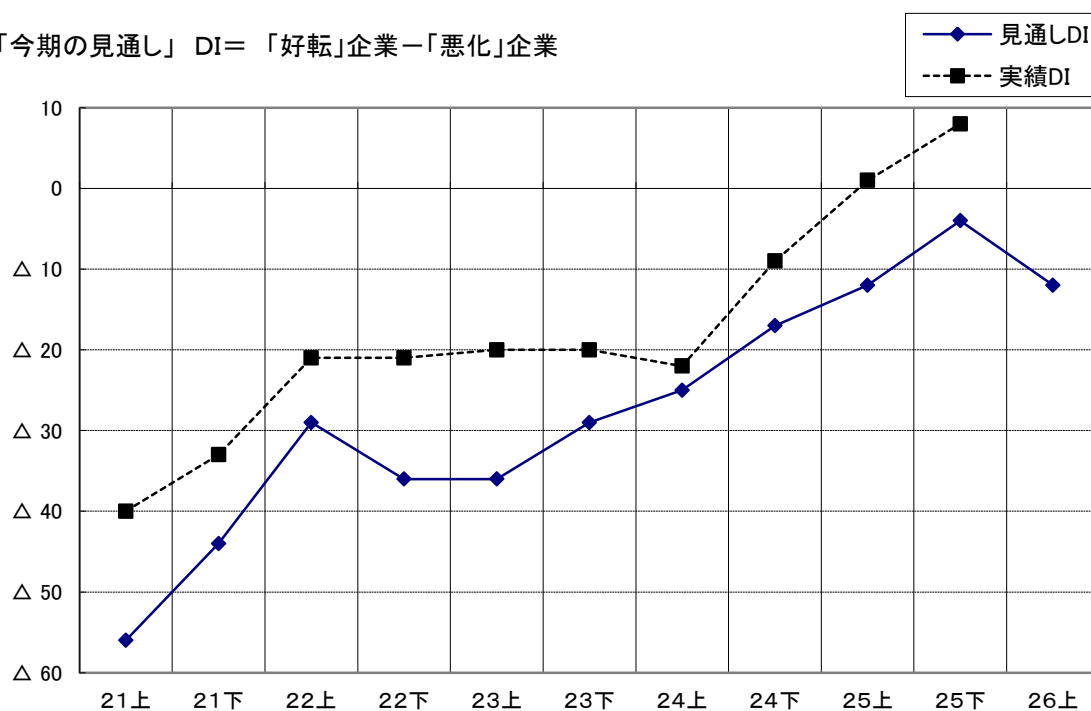
25年度下期の資金繰り難易度に関する実績DIは、見通しDIを12ポイント上回る8ポイントであった。このうち、「国産材企業」は実績DIが見通しDIを11ポイント上回り8ポイント、「外材企業」は、実績DIが見通しDIを20ポイント上回り9ポイントであった。

図表3 資金繰り難易度見通し

(単位：%、ポイント)

年度期別	項目	合計	好転	不変	悪化	DI
26年度上期の見通し		100	10	68	22	△ 12
内 訳	国産材企業	100	12	67	21	△ 9
	外材企業	100	3	76	21	△ 18
25年度下期の見通し		100	15	66	19	△ 4
内 訳	国産材企業	100	17	63	20	△ 3
	外材企業	100	4	81	15	△ 11
25年度下期の実績		100	20	68	12	8
内 訳	国産材企業	100	20	68	12	8
	外材企業	100	21	67	12	9

「今期の見通し」 DI = 「好転」企業 - 「悪化」企業



(2) 借入金の調達難易度見通し

借入金の調達難易度見通しは「図表4」のとおりである。

見通しDIは、前回調査より9ポイント下回り、マイナス8ポイントであり、23年度上期以来の減少となった。

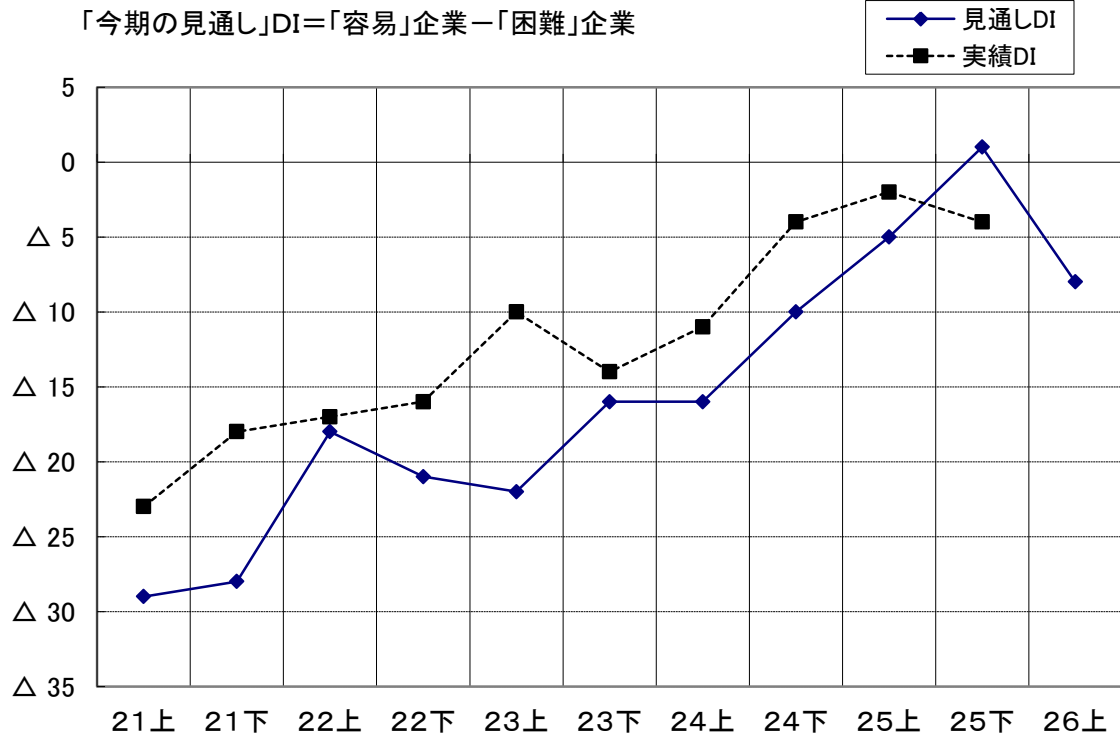
「国産材企業」・「外材企業」別では、「国産材企業」は前回調査より10ポイント下回りマイナス7ポイント、「外材企業」は5ポイント下回りマイナス12ポイントであった。

25年度下期の借入金の調達難易度に関する実績DIはマイナス4ポイントで、見通しDIより5ポイント下回った。

図表4 借入金の調達難易度見通し

(単位: %、ポイント)

年度期別	項目	合計	容易	不変	困難	DI
26年度上期の見通し		100	11	70	19	△ 8
内 訳	国産材企業	100	13	67	20	△ 7
	外材企業	100	6	76	18	△ 12
25年度下期の見通し		100	17	67	16	1
内 訳	国産材企業	100	19	65	16	3
	外材企業	100	10	73	17	△ 7
25年度下期の実績		100	11	74	15	△ 4
内 訳	国産材企業	100	11	74	15	△ 4
	外材企業	100	13	74	13	0



### (3) 借入金残高の増減見通し

借入金残高の増減見通しは「図表5」のとおりである。

見通しDIは、前回調査より44ポイント下回り、マイナス27ポイントとなった。

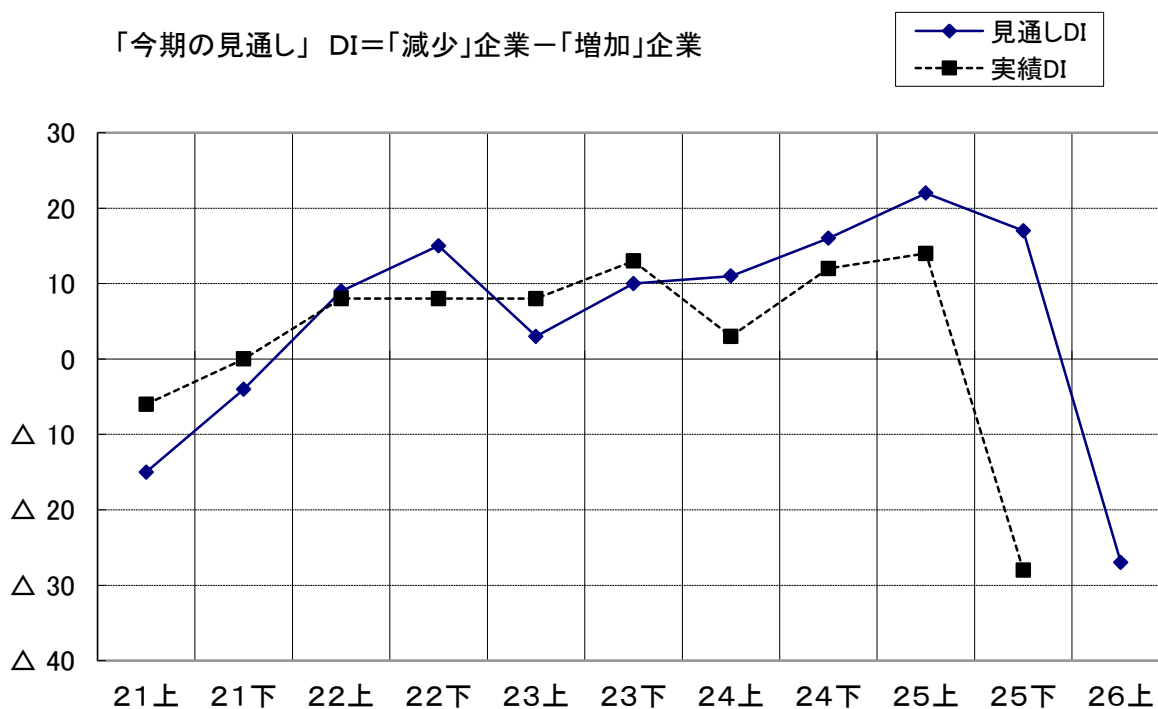
「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIでは、「国産材企業」は前回調査より45ポイント下回りマイナス26ポイント、「外材企業」は21ポイント下回りマイナス18ポイントであった。

25年度下期の借入金残高の増減に関する実績DIは、マイナス28ポイントで、見通しDIを45ポイント下回った。

図表5 借入金残高の増減見通し

(単位：%、ポイント)

年度期別	項目	合計	減少	不変	増加	DI
26年度上期の見通し		100	15	43	42	△ 27
内 訳	国産材企業	100	15	44	41	△ 26
	外材企業	100	21	40	39	△ 18
25年度下期の見通し		100	36	45	19	17
内 訳	国産材企業	100	37	45	18	19
	外材企業	100	31	41	28	3
25年度下期の実績		100	14	44	42	△ 28
内 訳	国産材企業	100	12	44	44	△ 32
	外材企業	100	24	46	30	△ 6



(4) 短期借入金の金利

① 短期借入金の金利見通し(「図表6-1」)

見通しDIは、前回調査より2ポイント下回り、マイナス2ポイントであった。  
 「国産材企業」・「外材企業」別では、「国産材企業」は前回調査より1ポイント下回り、マイナス4ポイント、「外材企業」は、前回調査より14ポイント下回り0ポイントであった。  
 25年度下期の借入金利に関する実績DIは、マイナス6ポイントで、見通しDIを6ポイント下回った。

② 調査時点における平均金利(「図表6-2」)

企業の借入金の平均金利は2.14%と前回調査に比べ0.16%低下した。「国産材企業」と「外材企業」との平均金利の差は0.23%となっている。

図表6-1 短期借入金の金利見通し (単位: %、ポイント)

項目		合計	低下	不変	上昇	DI
26年度上期の見通し		100	7	84	9	△ 2
内 訳	国産材企業	100	6	84	10	△ 4
	外材企業	100	10	80	10	0
25年度下期の見通し		100	8	84	8	0
内 訳	国産材企業	100	6	85	9	△ 3
	外材企業	100	17	80	3	14
25年度下期の実績		100	4	86	10	△ 6
内 訳	国産材企業	100	3	87	10	△ 7
	外材企業	100	6	81	13	△ 7

「今期の見通し」 DI=「低下」企業-「上昇」企業

図表6-2 調査時点における平均金利 (単位: %)

項目		平均金利 (調査時点)
26年度上期の状況		2.14
内 訳	国産材企業	2.20
	外材企業	1.97
25年度下期の状況		2.30
内 訳	国産材企業	2.31
	外材企業	2.27



(5) 売上代金の回収及び仕入代金の決済

① 売上代金の回収

売上代金の回収状況は「図表7」のとおりである。

前回調査に引き続き「手形50%以下」の割合が増加し、それ以外は横這いないし減少した。

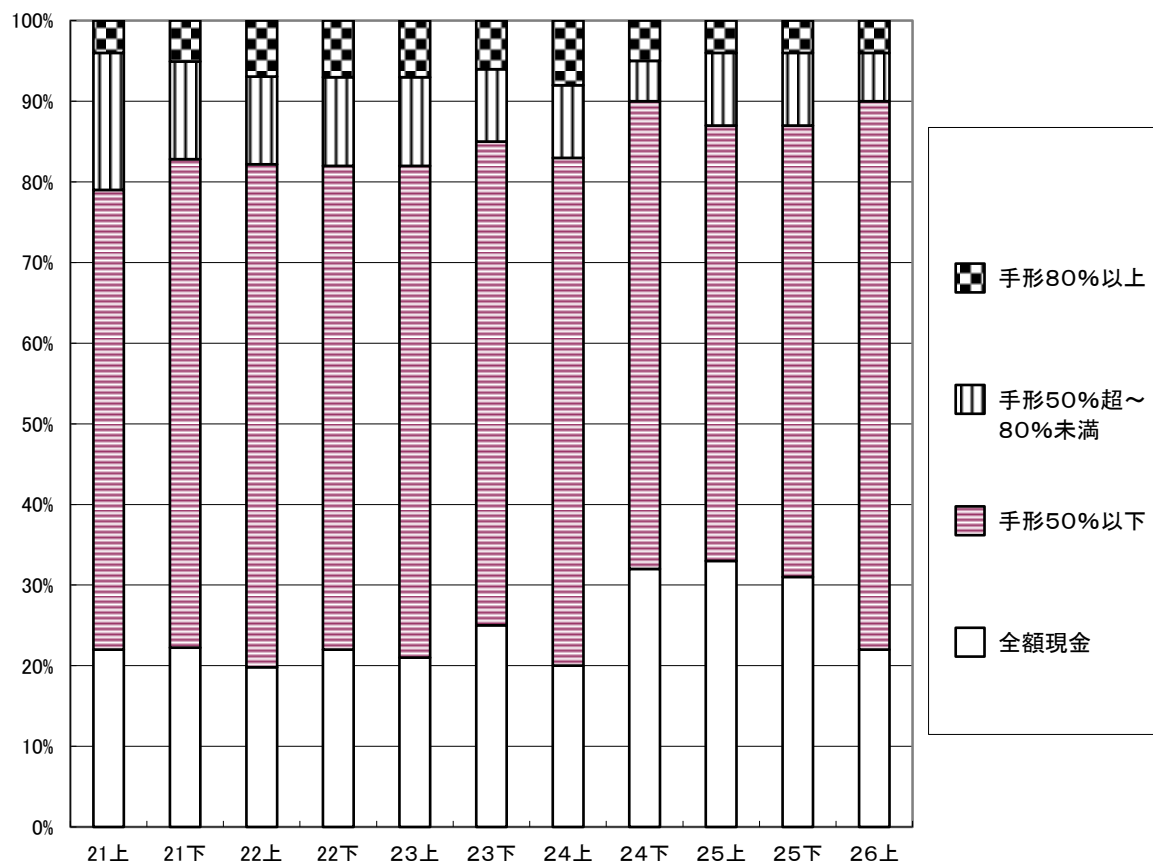
「国産材企業」・「外材企業」別では、前回調査に比べ、「国産材企業」は、「手形50%以下」が増加し、それ以外は減少した。

「外材企業」は、「手形50%以下」が90%を超えた。

図表7 売上代金の回収状況

(単位:%)

区分		合計	全額現金	手形50%以下	手形50%超～80%未満	手形80%以上
26年度上期の状況		100	22	68	6	4
内 訳	国産材企業	100	26	63	7	4
	外材企業	100	3	91	3	3
25年度下期の状況		100	31	56	9	4
内 訳	国産材企業	100	34	52	9	5
	外材企業	100	17	73	10	0
25年度上期の状況		100	33	54	9	4
内 訳	国産材企業	100	36	52	8	4
	外材企業	100	18	64	12	6



## ② 受取手形のサイト

受取手形のサイトの状況は「図表8」のとおりである。

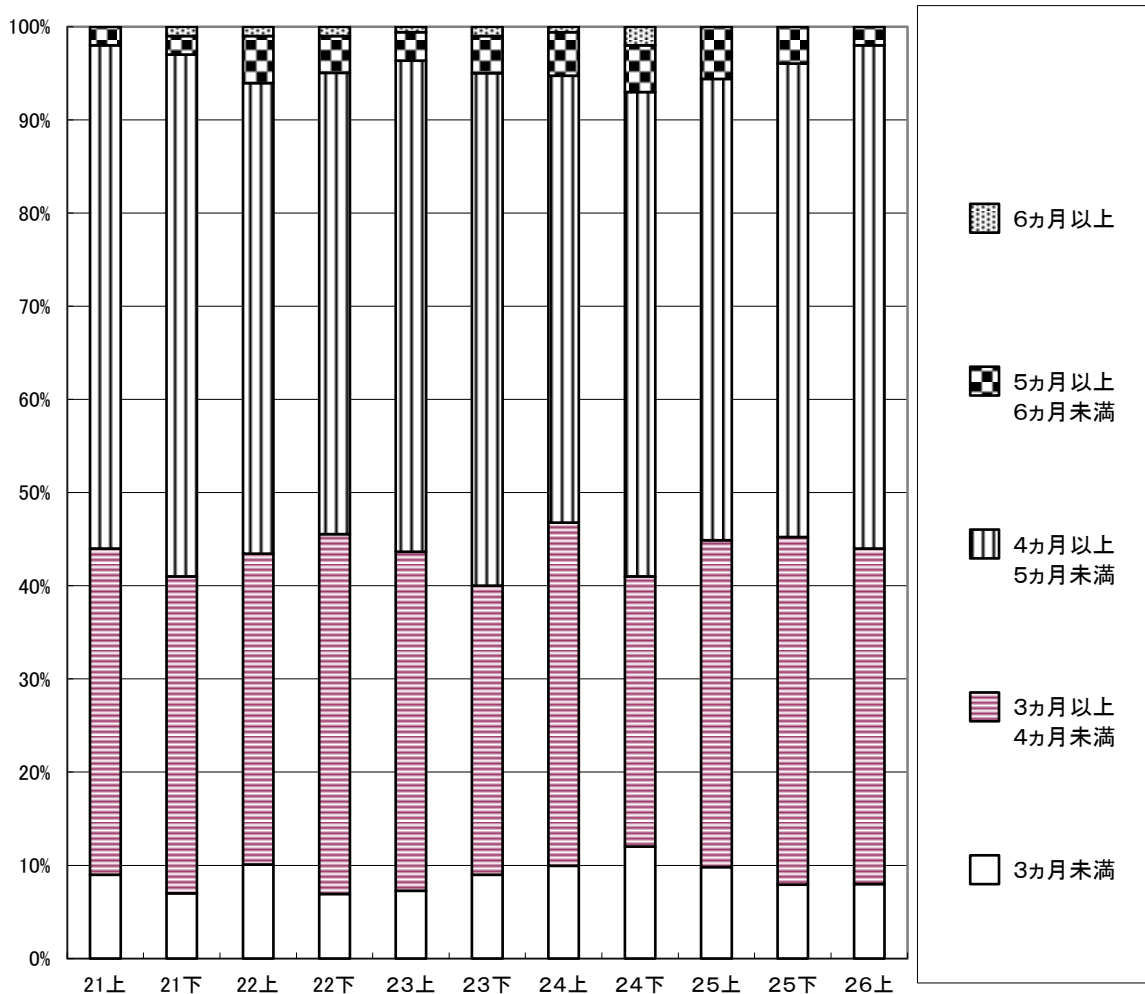
前回調査に比べ、「4カ月以上5ヶ月未満」の割合が増加した以外は、横這いなし減少した。

「国産材企業」・「外材企業」別では、前回調査に比べ、「国産材企業」は、「4カ月以上5ヶ月未満」及び「6ヶ月以上」の割合が増加し、それ以外は減少ないし横這いだったのに対し、「外材企業」は「3カ月以上4ヶ月未満」の割合が増加し、それ以外は減少ないしは横這いであった。

図表8 受取手形のサイトの状況

(単位:%)

年度期別		区分	合計	3カ月未満	3カ月以上 4カ月未満	4カ月以上 5カ月未満	5カ月以上 6カ月未満	6カ月以上
26年度上期			100	8	36	54	2	0
内 訳	国産材企業		100	8	36	53	2	1
	外材企業		100	4	37	59	0	0
25年度下期			100	8	37	51	4	0
内 訳	国産材企業		100	8	40	49	3	0
	外材企業		100	5	25	60	10	0
25年度上期			100	10	35	49	6	0
内 訳	国産材企業		100	12	37	47	4	0
	外材企業		100	0	26	63	11	0



### ③ 仕入代金の決済

仕入代金の決済状況は「図表9」のとおりである。

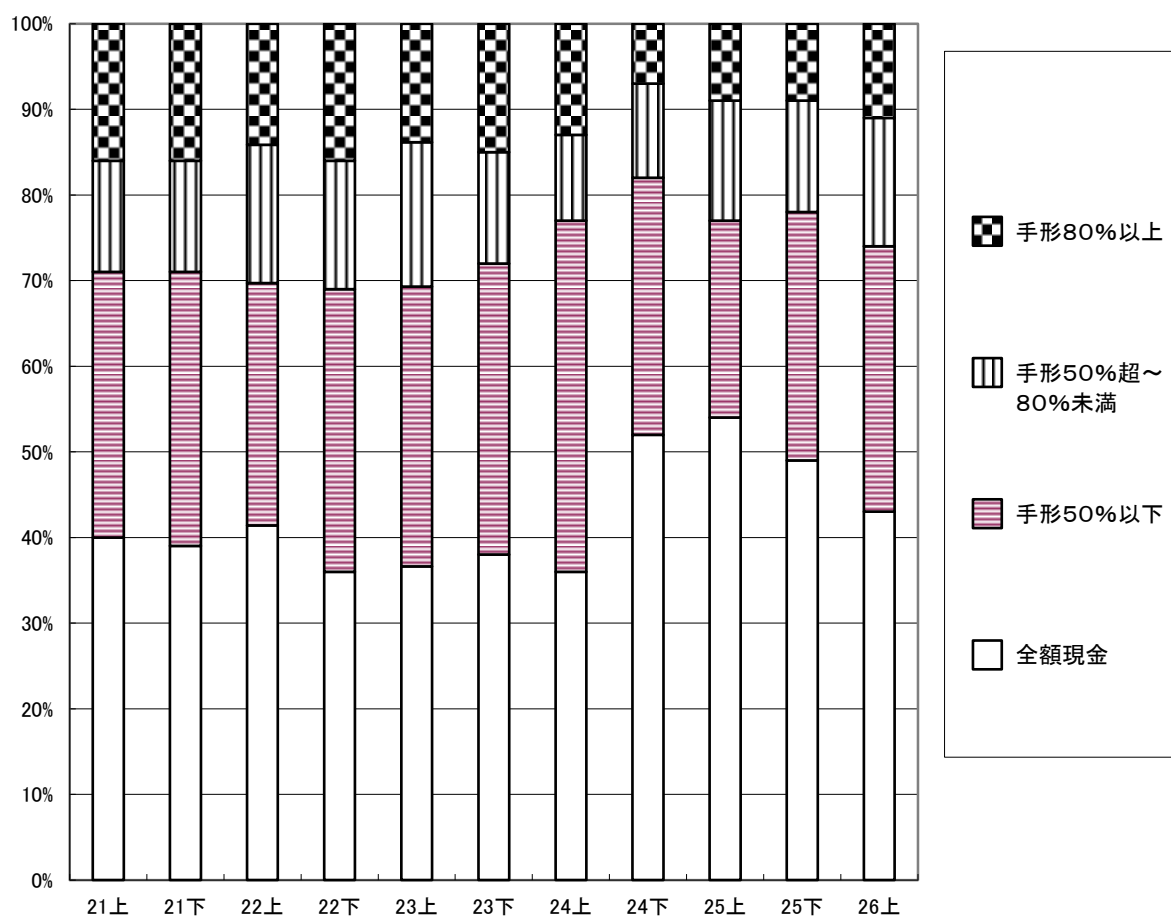
前回調査に比べ、「全額現金」が減少し、それ以外は増加した。

「国産材企業」・「外材企業」別では、前回調査に比べて、「国産材企業」は「全額現金」が減少し、それ以外は増加した。「外材企業」は、「全額現金」及び「手形50%以下」が減少し、それ以外は横這いないし増加した。

図表9 仕入代金の決済状況

(単位:%)

年度期別		区分	合計	全額現金	手形50%以下	手形50%超～80%未満	手形80%以上
26年度上期			100	43	31	15	11
内訳	国産材企業		100	44	29	17	10
	外材企業		100	37	40	10	13
25年度下期			100	49	29	13	9
内訳	国産材企業		100	51	27	13	9
	外材企業		100	38	42	10	10
25年度上期			100	54	23	14	9
内訳	国産材企業		100	56	22	14	8
	外材企業		100	40	30	15	15



#### ④ 支払手形のサイト

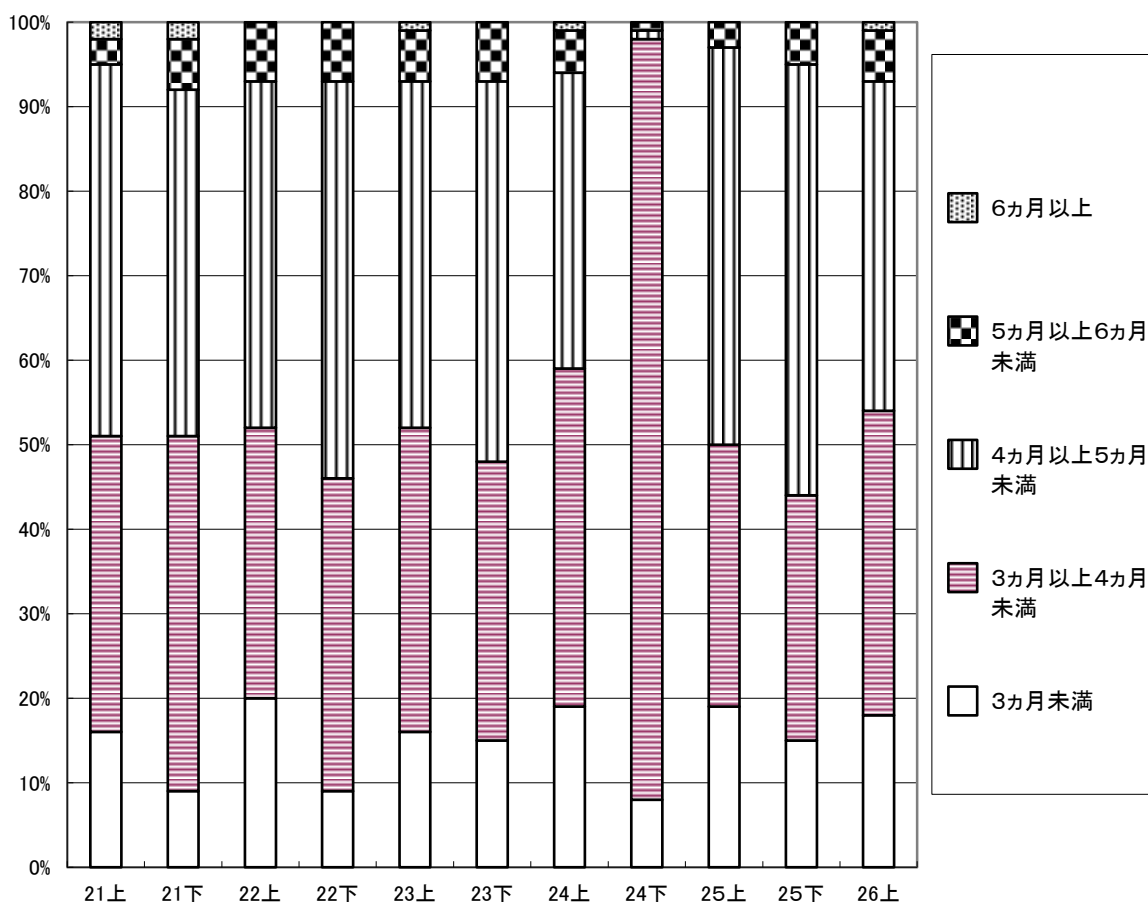
支払手形のサイトの状況は「図表10」とおりである。

前回調査に比べて、「4ヶ月以上5ヵ月未満」の割合が減少し、それ以外は増加した。

「国産材企業」・「外材企業」別では、前回調査に比べて、「国産材企業」も同様に「4ヶ月以上5ヵ月未満」の割合が減少し、それ以外は横這いないし増加し、「外材企業」は、「4ヶ月以上5ヵ月未満」、「5ヶ月以上6ヶ月未満」が減少した以外は増加した。

図表10 支払手形のサイトの状況 (単位:%)

年度期別		区分	合計	3ヵ月未満	3ヵ月以上 4ヵ月未満	4ヵ月以上 5ヵ月未満	5ヵ月以上 6ヵ月未満	6ヵ月以上
26年度上期			100	18	36	39	6	1
内 訳	国産材企業		100	19	39	39	3	0
	外材企業		100	11	22	39	22	6
25年度下期			100	15	29	51	5	0
内 訳	国産材企業		100	17	30	52	1	0
	外材企業		100	7	21	43	29	0
25年度上期			100	19	31	47	3	0
内 訳	国産材企業		100	22	32	45	1	0
	外材企業		100	5	26	58	11	0



### 3. 設備投資の意向

設備投資の意向は「図表11」のとおりである。

見通しDIは、前回調査より7ポイント上回るマイナス27ポイントであるが、依然として設備投資意欲は低調である。

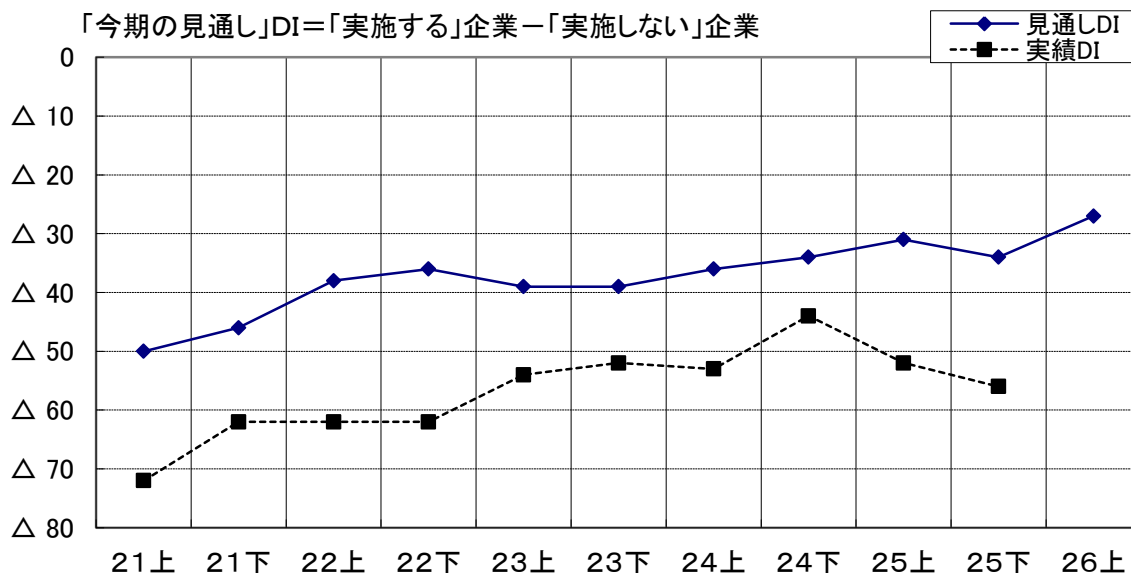
「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIは、「国産材企業」は前回調査より8ポイント上回りマイナス26ポイント、「外材企業」は10ポイント上回り、マイナス22ポイントであった。

25年度下期の設備投資に関する実績DIは、マイナス56ポイントと低調で見通しDIを22ポイント下回った。

図表11 設備投資の意向

(単位：%)

区分		合計	実施する (実施した)	実施しない	未定	DI
年度期別						
26年度上期の見通し		100	26	53	21	△ 27
内 訳	国産材企業	100	26	52	22	△ 26
	外材企業	100	30	52	18	△ 22
25年度下期の見通し		100	24	58	18	△ 34
内 訳	国産材企業	100	25	59	16	△ 34
	外材企業	100	18	50	32	△ 32
25年度下期の実績		100	22	78	0	△ 56
内 訳	国産材企業	100	20	80	0	△ 60
	外材企業	100	32	68	0	△ 36



設備投資予定企業の投資目的は「図表12」のとおりである。

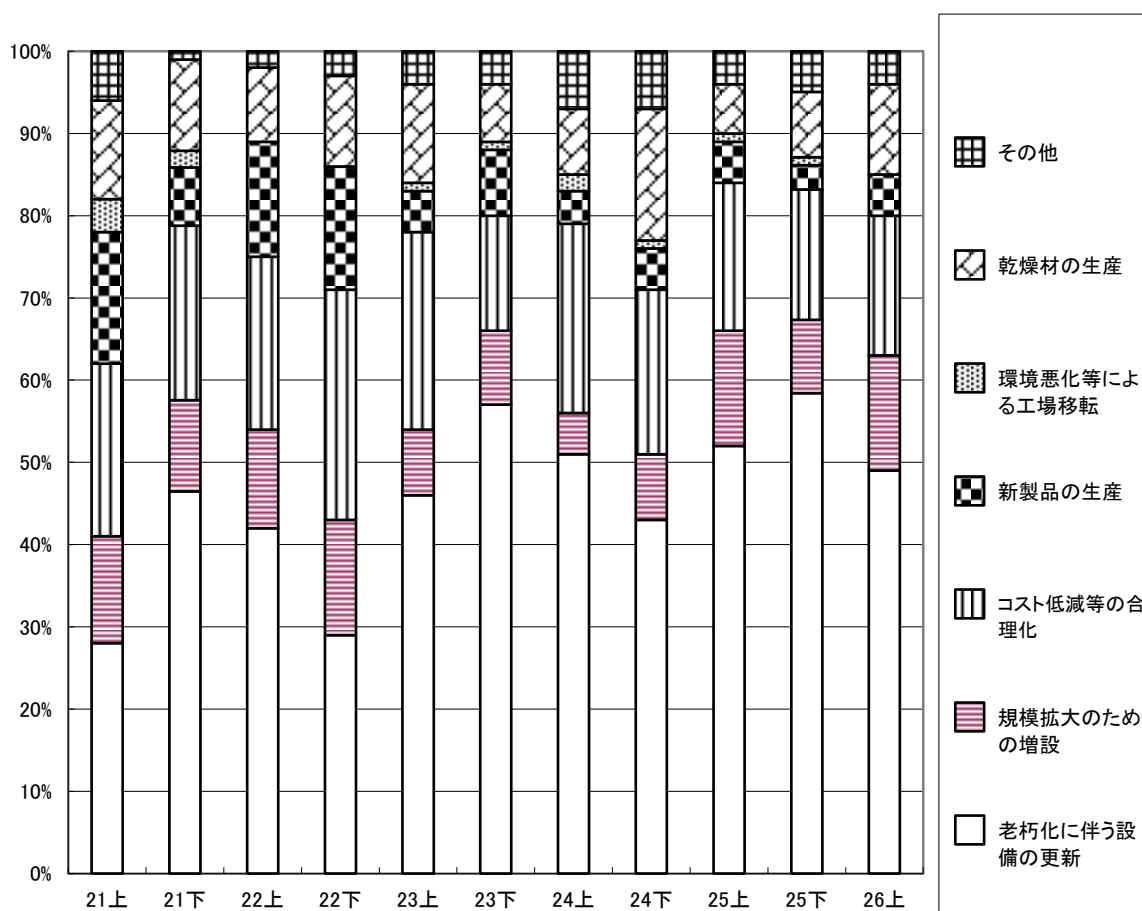
第1位「老朽化に伴う設備の更新」(49%)、第2位「コスト低減等の合理化」(17%)、第3位「規模拡大のための増設」(14%)と続いている。

「国産材企業」では、第1位「老朽化に伴う設備の更新」(50%)、第2位は、「コスト低減等の合理化」(15%)と「規模拡大のための増設」(15%)が並んでいる。

「外材企業」においては、第1位「老朽化に伴う設備の更新」(40%)、第2位は、「コスト低減等の合理化」(25%)、第3位は「新製品の生産」(15%)となった。

図表12 設備投資予定企業の投資目的 (単位:%)

年度期別	項目	合計	老朽化に伴う設備の更新	規模拡大のための増設	コスト低減等の合理化	新製品の生産	環境悪化等による工場移転	乾燥材の生産	その他
26年度上期の見通し		100	49	14	17	5	0	11	4
内訳	国産材企業	100	50	15	15	2	0	12	6
	外材企業	100	40	10	25	15	0	5	5
25年度下期の見通し		100	58	9	16	3	1	8	5
内訳	国産材企業	100	60	9	16	3	1	6	5
	外材企業	100	56	6	16	0	0	16	6



#### 4. 在庫量の見通し

在庫量の見通しは「図表13」のとおりである。

- (1) 原木在庫量についての見通しDIは、前回調査より57ポイント下回り、マイナス20ポイントであった。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIは、「国産材企業」は前回調査より61ポイント下回り、マイナス23ポイント、「外材企業」は34ポイント下回り、マイナス7ポイントであった。

25年度下期の原木在庫量に関する実績DIは、見通しDIより53ポイント下回り、マイナス16ポイントとなった。

- (2) 製品在庫量についての見通しDIは、前回調査より12ポイント下回り、3ポイントであった。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIは、前回調査と比べ、「国産材企業」は18ポイント下回り、0ポイント、「外材企業」は23ポイント上回り、19ポイントであった。

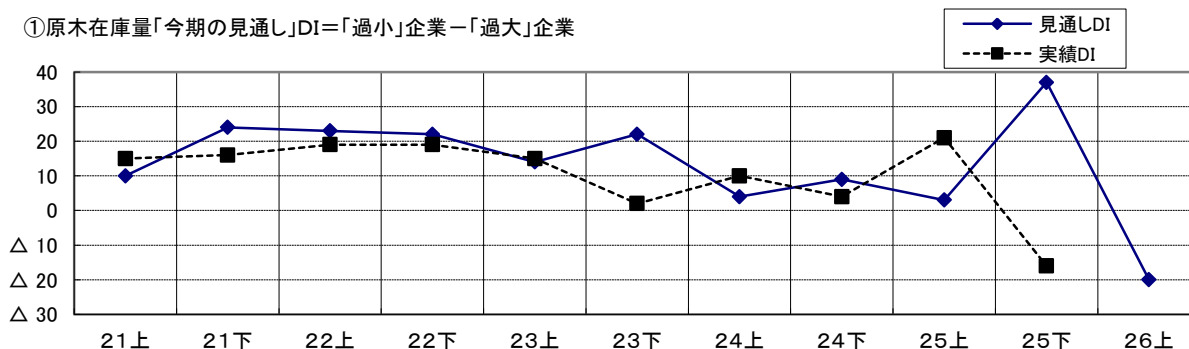
25年度下期の製品在庫量に関する実績DIは、見通しDIより15ポイント下回り、0ポイントであった。

図表13 在庫量の見通し

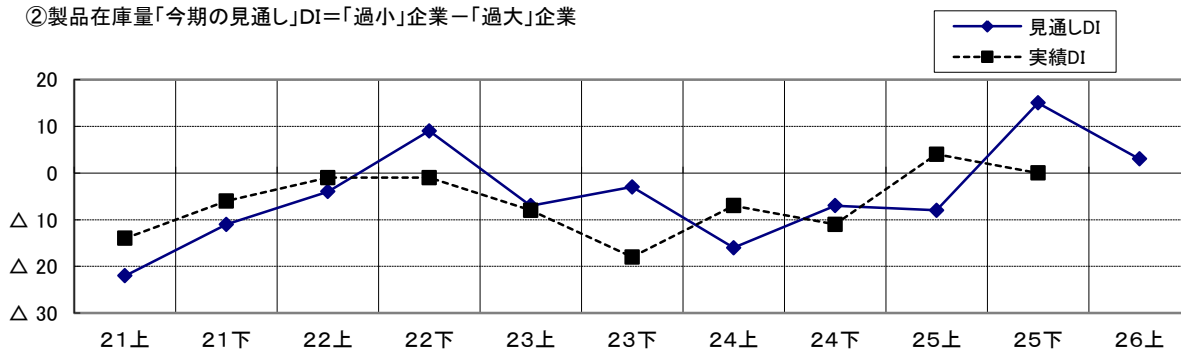
(単位: %、ポイント)

年度期別	項目	原木在庫量					製品在庫量				
		合計	過小	適正	過大	DI	合計	過小	適正	過大	DI
26年度上期の見通し		100	8	64	28	△ 20	100	19	65	16	3
内訳	国産材企業	100	6	65	29	△ 23	100	17	66	17	0
	外材企業	100	19	55	26	△ 7	100	29	61	10	19
25年度下期の見通し		100	44	49	7	37	100	28	59	13	15
内訳	国産材企業	100	44	50	6	38	100	30	58	12	18
	外材企業	100	42	43	15	27	100	17	62	21	△ 4
25年度下期の実績		100	6	72	22	△ 16	100	14	72	14	0
内訳	国産材企業	100	5	72	23	△ 18	100	13	72	15	△ 2
	外材企業	100	11	74	15	△ 4	100	19	75	6	13

①原木在庫量「今期の見通し」DI=「過小」企業-「過大」企業



②製品在庫量「今期の見通し」DI=「過小」企業-「過大」企業



## 5. 純利益の見通し

純利益の見通しは「図表14」のとおりである。

見通しDIは、前回調査より16ポイント下回り、マイナス24ポイントであった。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIは、「国産材企業」は前回調査より13ポイント下回り、マイナス20ポイント、「外材企業」は28ポイント下回り、マイナス38ポイントであった。

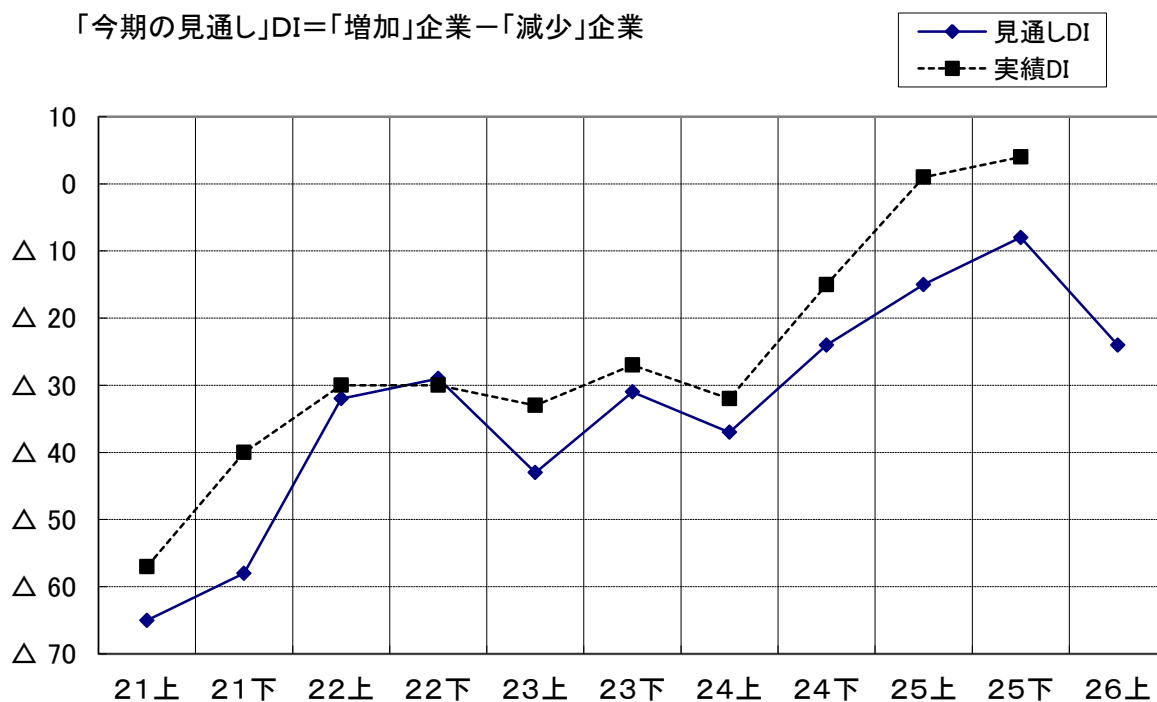
25年度下期の純利益に関する実績DIは、見通しDIより12ポイント上回り、4ポイントであった。

図表14 純利益の見通し

(単位：%、ポイント)

年度期別		項目	合計	増加	不変	減少	DI
26年度上期の見通し			100	18	40	42	△ 24
内 訳	国産材企業		100	21	38	41	△ 20
	外材企業		100	6	50	44	△ 38
25年度下期の見通し			100	27	38	35	△ 8
内 訳	国産材企業		100	28	37	35	△ 7
	外材企業		100	24	42	34	△ 10
25年度下期の実績			100	32	40	28	4
内 訳	国産材企業		100	32	42	26	6
	外材企業		100	36	31	33	3

「今期の見通し」DI＝「増加」企業－「減少」企業





地域別純利益の見通しは「図表15」のとおりである。

前回調査に比べ、各地域の見通しDIは、「関東」で57ポイント、「近畿」で7ポイント上回り、「北海道」で横這い、その他の地域では、見通しDIは19～43ポイントの範囲で下回り、全国的には前回より16ポイント下回った。

図表15 地域別純利益の見通し

(単位：%、ポイント)

項目 地域別	26年度上期					25年度下期				
	合計	増加	不変	減少	DI	合計	増加	不変	減少	DI
北海道	100	30	31	39	△ 9	100	24	43	33	△ 9
東北	100	18	35	47	△ 29	100	28	36	36	△ 8
関東	100	38	43	19	19	100	8	46	46	△ 38
北陸	100	11	33	56	△ 45	100	33	11	56	△ 23
東海	100	5	69	26	△ 21	100	39	44	17	22
近畿	100	18	37	45	△ 27	100	22	22	56	△ 34
中国	100	13	31	56	△ 43	100	33	25	42	△ 9
四国	100	19	43	38	△ 19	100	19	62	19	0
九州	100	14	37	49	△ 35	100	33	34	33	0
合計	100	18	40	42	△ 24	100	27	38	35	△ 8

## 6. 木材価格の見通し

原木及び製品価格の見通しは「図表16」のとおりである。

(1) 原木価格についての見通しDIは、前回調査より87ポイント上回り、20ポイントであった。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIでは、「国産材企業」は、前回調査より82ポイント上回り、16ポイント、「外材企業」は112ポイント上回り、36ポイントであった。

25年度下期の原木価格に関する実績DIは、見通しDIより123ポイント上回り、56ポイントであった。

(2) 製品価格についての見通しDIは、前回調査より47ポイント下回り、マイナス10ポイントであった。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIでは、「国産材企業」は前回調査より49ポイント下回り、マイナス11ポイント、「外材企業」は41ポイント下回り、マイナス3ポイントであった。

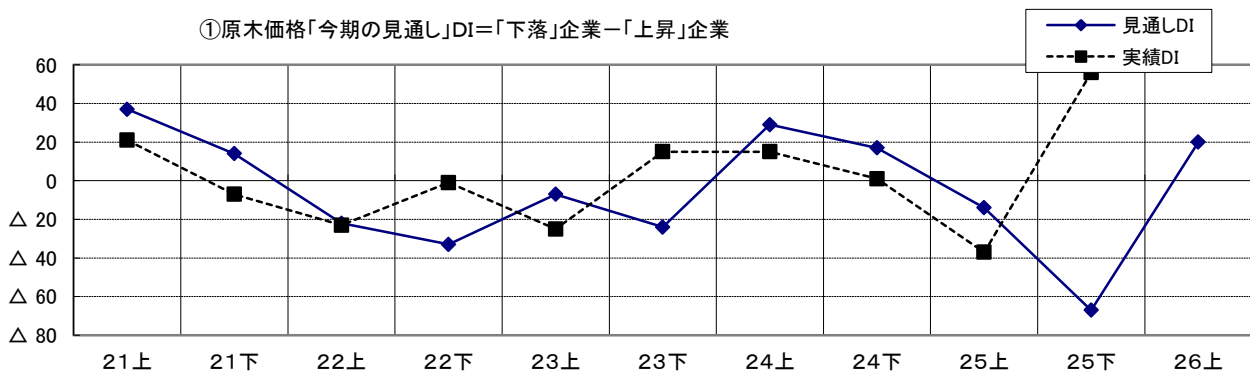
25年度下期の製品価格に関する実績DIは、見通しDIより5ポイント下回り、32ポイントであった。

図表16 木材価格の見通し

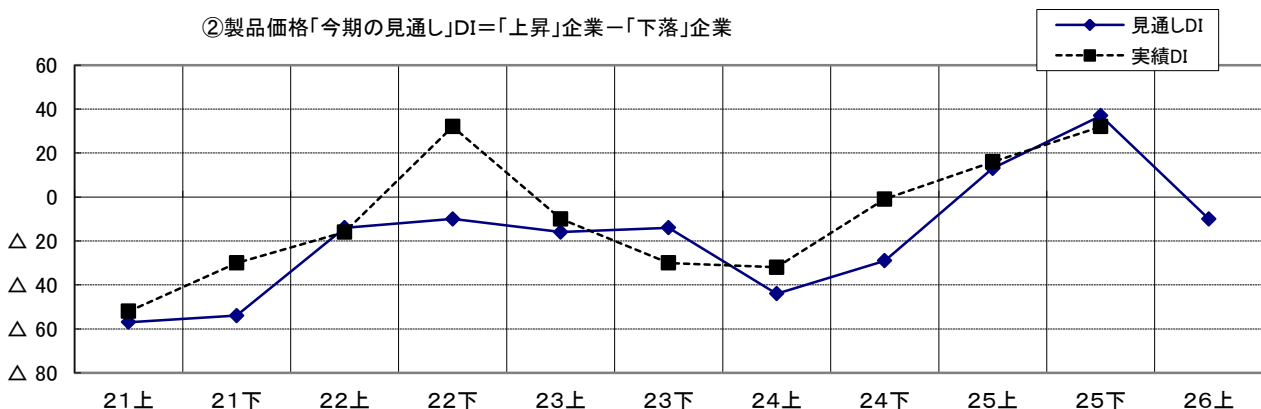
(単位: %、ポイント)

年度期別	項目	原木価格					製品価格				
		合計	下落	横這い	上昇	DI	合計	上昇	横這い	下落	DI
26年度上期の見通し		100	38	44	18	20	100	17	56	27	△ 10
内訳	国産材企業	100	35	46	19	16	100	16	57	27	△ 11
	外材企業	100	50	36	14	36	100	24	49	27	△ 3
25年度下期の見通し		100	2	29	69	△ 67	100	41	55	4	37
内訳	国産材企業	100	2	30	68	△ 66	100	41	56	3	38
	外材企業	100	0	24	76	△ 76	100	45	48	7	38
25年度下期の実績		100	60	36	4	56	100	41	50	9	32
内訳	国産材企業	100	58	37	5	53	100	38	52	10	28
	外材企業	100	75	25	0	75	100	56	41	3	53

①原木価格「今期の見通し」DI=「下落」企業-「上昇」企業



②製品価格「今期の見通し」DI=「上昇」企業-「下落」企業

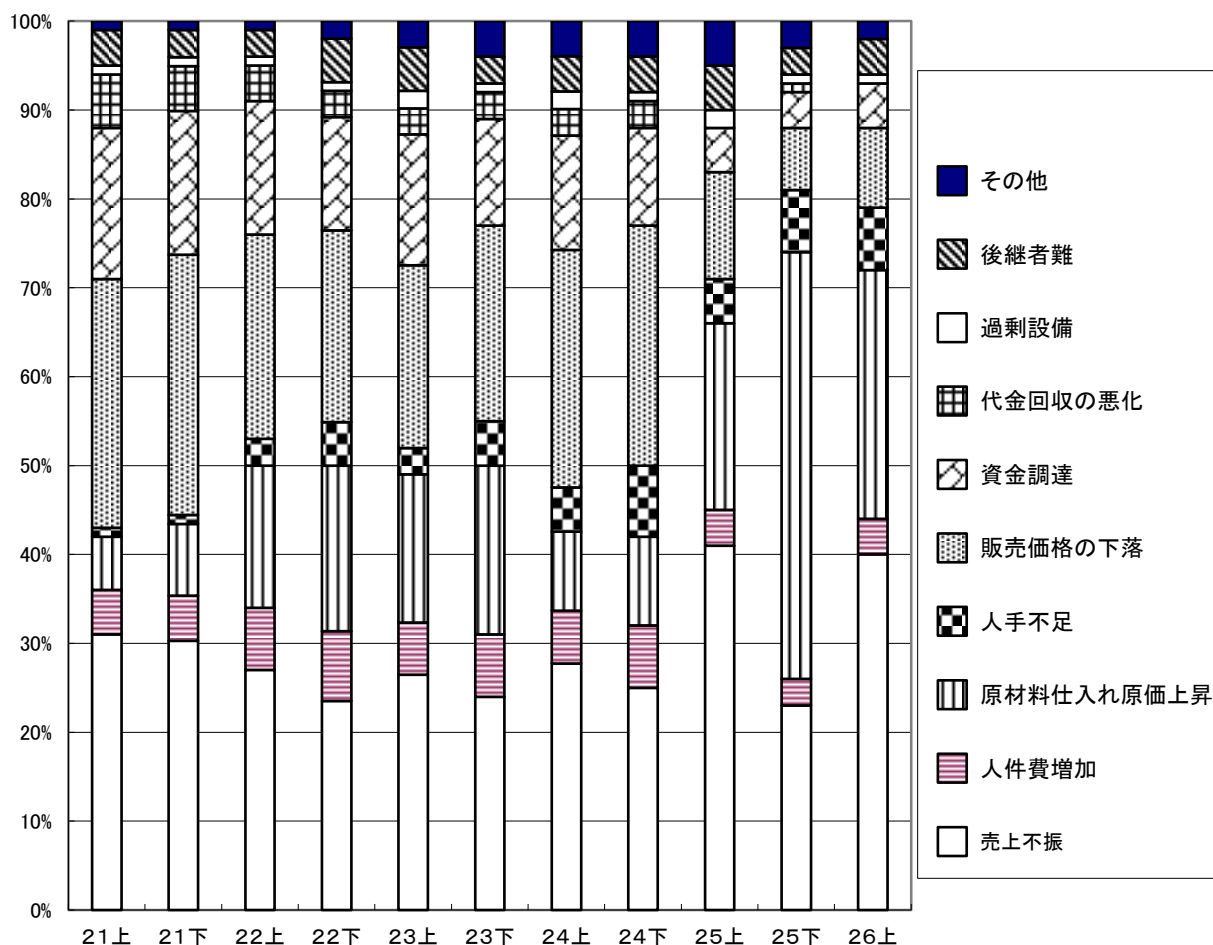


## 7. 当面する経営上の問題点

当面する経営上の問題点は「図表17」のとおりである。「売上不振」(40%)が最も多く、次に「原材料仕入れ原価上昇」(28%)、「販売価格の下落」(9%)、「人手不足」(7%)が続いている。

図表17 当面する経営上の問題点 (単位:%)

年度期別	項目	回答総計	売上不振	人件費増加	原材料仕入れ原価上昇	人手不足	販売価格の下落	資金調達	代金回収の悪化	過剰設備	後継者難	その他
26年度上期		100	40	4	28	7	9	5	0	1	4	2
内訳	国産材企業	100	38	3	29	8	9	5	0	1	4	3
	外材企業	100	44	6	28	3	10	6	0	0	3	0
25年度下期		100	23	3	48	7	7	4	1	1	3	3
内訳	国産材企業	100	23	4	46	7	7	4	1	1	4	3
	外材企業	100	21	0	61	3	4	7	0	0	0	4
25年度上期		100	41	4	21	5	12	5	0	2	5	5
内訳	国産材企業	100	45	5	13	6	13	5	0	1	6	6
	外材企業	100	31	0	57	0	6	3	0	3	0	0



## 8. 今後の経営の見通し及び事業方針

### (1) 今後の経営の見通し

今後の経営の見通しは「図表18」のとおりである。

見通しDIは、前回調査より3ポイント下回り、マイナス19ポイントであり、「苦しくなる」企業の割合が微増した。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIは、「国産材企業」は前回調査より2ポイント下回り、マイナス16ポイント、「外材企業」は1ポイント下回り、マイナス30ポイントであった。

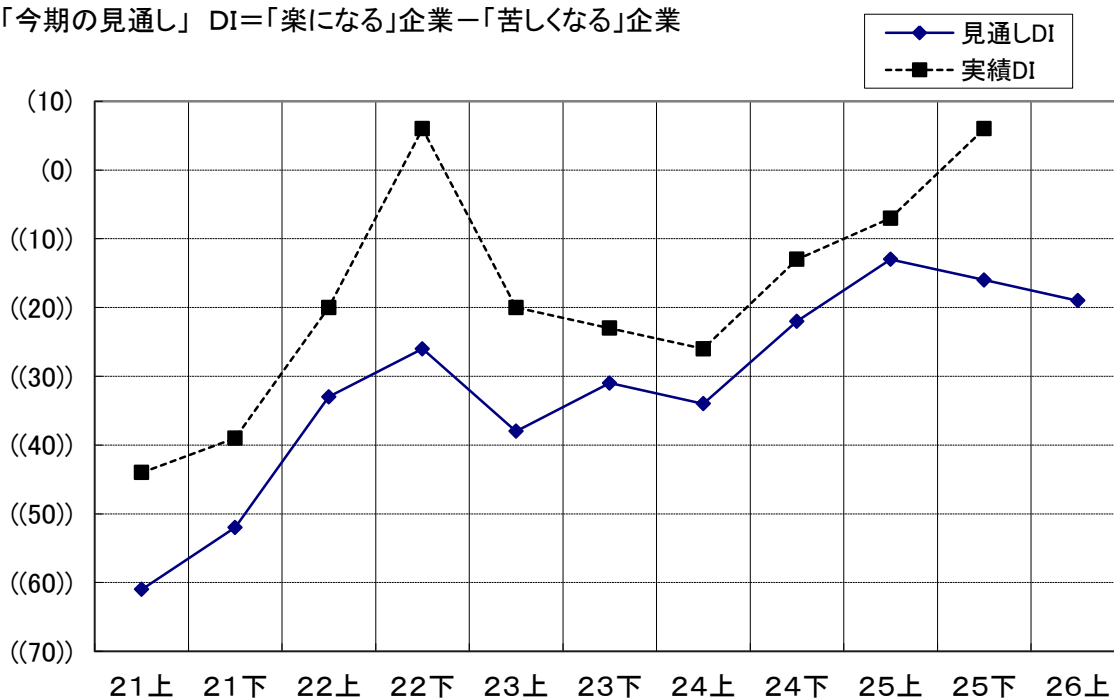
25年度下期の今後の経営に関する実績DIは、見通しDIを22ポイント上回り、6ポイントであった。

図表18 今後の経営の見通し

(単位:%、ポイント)

年度期別		項目	合計	楽になる (楽になった)	横這い	苦しくなる (苦しくなった)	DI
26年度上期の見通し			100	9	63	28	△ 19
内 訳	国産材企業		100	10	64	26	△ 16
	外材企業		100	6	58	36	△ 30
25年度下期の見通し			100	9	66	25	△ 16
内 訳	国産材企業		100	11	64	25	△ 14
	外材企業		100	0	71	29	△ 29
25年度下期の実績			100	17	72	11	6
内 訳	国産材企業		100	18	71	11	7
	外材企業		100	12	79	9	3

「今期の見通し」 DI=「楽になる」企業－「苦しくなる」企業



(2) 今後の事業方針

今後の事業方針は「図表19」のとおりである。

今後の事業方針の見通しDIは、前回調査より1ポイント下回り、7ポイントであり、「現状維持」とする企業が大半であった。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIでは、「国産材企業」は前回調査より2ポイント下回り、6ポイント、一方「外材企業」は5ポイント上回り、12ポイントであった。

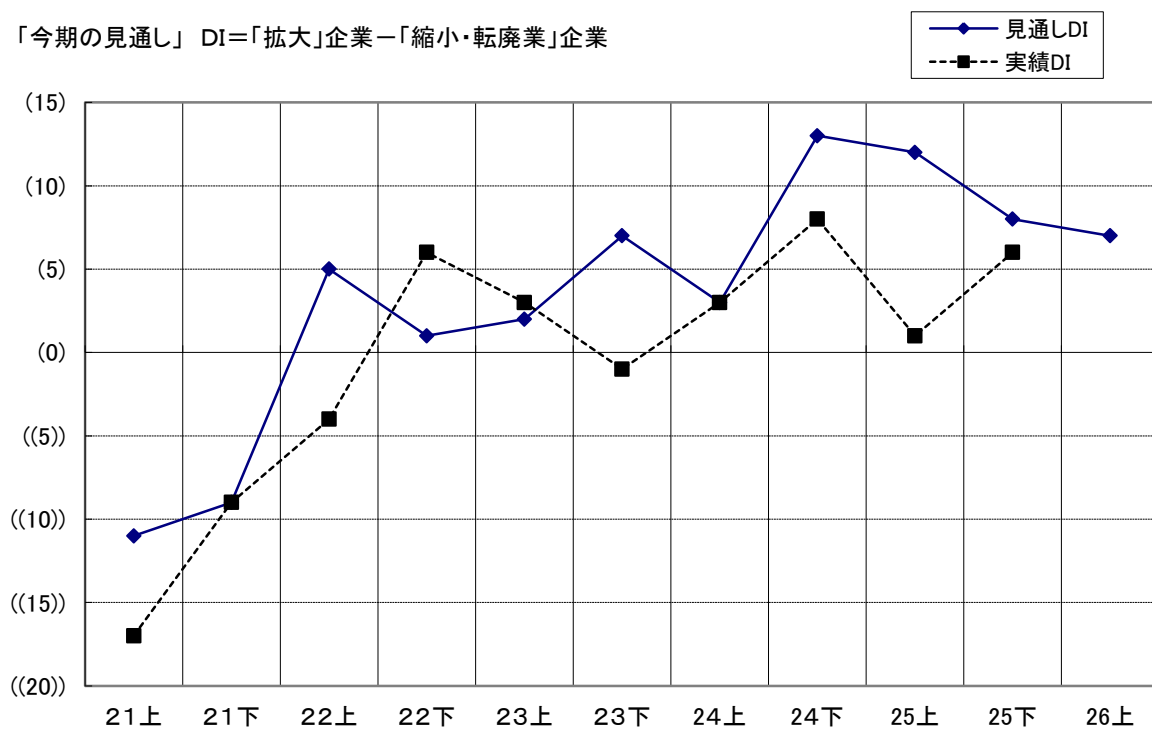
25年度下期の事業方針に関する実績DIは、見通しDIより2ポイント下回り、6ポイントであった。

図表19 今後の事業方針

(単位: %、ポイント)

項目		合計	拡大	現状維持	縮小・転廃業 ( ) 転廃業内数		DI
26年度上期の見通し		100	15	77	8	(2)	7
内 訳	国産材企業	100	15	76	9	(2)	6
	外材企業	100	18	76	6	(0)	12
25年度下期の見通し		100	15	78	7	(1)	8
内 訳	国産材企業	100	15	78	7	(1)	8
	外材企業	100	17	73	10	(0)	7
25年度下期の実績		100	14	78	8	(1)	6
内 訳	国産材企業	100	13	80	7	(1)	6
	外材企業	100	15	76	9	(0)	6

「今期の見通し」 DI=「拡大」企業-「縮小・転廃業」企業



独立行政法人

**農林漁業信用基金（林業部門）**

〒101-8506 東京都千代田区内神田1-1-12

コープビル11階

TEL 03-3294-5581（林業部門代表）

FAX 03-3294-5595

URL <http://www.affcf.com>